

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	傷病者を救急車より搬出時、エクスチェンジタイプストレッチャー脚のボルトが折損した事例。
3. 体験した事例の中心的要素	病院到着後、傷病者を病院収容のために、救急車から傷病者を乗せたままエクスチェンジタイプストレッチャーを救急車より搬出時に、通常最上段で止まるはずのストレッチャーの脚が止まらずに突然下がり掛けたことから、確保していた救急隊員のとっさの対応により二段目で止め、傷病者の落下を未然に防止した事例。
4. 体験した事例の原因・理由	エクスチェンジタイプストレッチャーの脚の高さ調節用ストッパー金具のネジ（1本）の、破損脱落によるものと思われる。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 20 年 12 月 4 日 午後 2 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：病院の急患室にある傷病者搬入口の前。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	その他：救急搬出時の傷病者の落下事故。
7. 事例体験時の活動	救急その他：病院に到着し救急車から傷病者の搬出時。 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：病院に到着し、救急車から傷病者を搬出中。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[50]歳、 勤続年数[31]年、 現場経験年数[13] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [過去に 1,2 回程]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[39]歳、 勤続年数[20]年、 現場経験年数[10]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[32]歳、 勤続年数[14]年、 現場経験年数[7]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	通信指令課	救急出場指令	
経過 2	通信指令課	支援情報 75 歳女性 急病	既往症 頸椎手術
経過 3	当該隊	現場到着	
経過 4	A	傷病者に接触、観察、情報聴集	
経過 5	B	応急処置、手当て	
経過 6	当該隊	現場出発	
経過 7	当該隊	病院到着	
経過 8	A. B. C	救急車から傷病者搬出	
経過 9	当該隊	病院収容	
経過 10	当該隊	病院引継	

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険事象の対応方法を知っていた。資機材の操作がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 いいえ
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 いいえ

b 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
 - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：資機材への過信。

